

陸上競技(短距離)プログラム報告 2011年3月12日プログラム

日付: 2011 年 3 月 12 日 (土曜日)

分類: [手記](#)



朝八時半過ぎに健康福祉村に向かい、途中、武蔵野線のガードの上に停まっている貨物列車を見ました。昨日の三時前から停まっていたに違いありません。一瞬不安が脳裏をかすめます。皆来てくれるだろうか。

十分後、何時になく人出の少ない福祉村が目の前に在りました。本部棟ロビーも閑散。SO関係者はなし。『これじゃプログラムにならないな』そう思いかけた頃、入口のドアの前に見慣れた顔が立ちました。サッカーのアスリートのA君です。「サッカーの青木コーチは休みだって」

彼はそう言う私の隣に座り込みました。それからは昨日の地震のことをあれやこれや。そうこうするうちにK君や大坂省悟君、それにS君も姿を見せ『少ないながら何とか』と云う形が出来ました。

今回は参加人数が少ないと云うことも有って、ミーティングは芝生広場でやりました。その後、大坂君のリードで準備体操、そして二千メートルのウォーキングです。

今回のターゲットはコブシとハクモクレン、一年前にも同じテーマでプリントを作ったお馴染みの樹で、今開花時期を迎えています。配布プリントは上辺にこの良く似た二種類の樹の画像を載せ、その下にこの二種の見分け方を書きました。

そして私は自転車で彼らに先行してジョギングコースの三百メートル表示に向かい、その近くのベンチに座って彼らを待ちました。その直ぐ前にハクモクレンが生えているのです。

やがて現れた集団の先頭にはS君が居ました。彼はハクモクレンの樹の前で立ち止まって、自信なさそうに周りを見回していましたが、近くに私を見付けると安堵の色を浮かべました。

やがて追い付いて来た本隊を加えて一講釈。全ての蕾が揃って空に向かって直立する様を確認して再スタートしました。私は彼らの背中を見送ってから自転車を飛ばして開花直後のコブシの樹に向かいます。それはジョギングコース沿い、スケートリンクのチョイ手前に生えています。

待つほどもなくS君が姿を現しました。今度は自信満々でコブシの前に立ち、白い花に見入りました。やがて追い付いて来た本隊もこれに倣います。

ここで言うべきことは一つだけ。花の付け根についている小さな葉のことだけです。これが最も簡単なハクモクレンとコブシの見分け方になるからです。そして五分、再スタートした一行はスタートラインに戻りました。

ウォーキングの後は二千のタイムを取り、小休止の後に所用で早退したK君を除いて八百のタイムを取り、大坂PCのリードで体操をした後、アスリート、ファミリー、コーチ全員で Let's GoSONS を叫んで大地震の記憶も鮮明な今日、2011 年 3 月 12 日のプログラムを終了しました。午前十一時十五分でした。

中 村 泰 雄

注:一部人名をイニシャルに変換して掲載しております。